

一般社団法人 日本病院寝具協会
スイス医療寝具事情視察報告書

平成 28 年 8 月 31 日～9 月 8 日

平成 28 年 12 月 1 日

海外調査委員会



はじめに

一般社団法人 日本病院寝具協会
スイス医療寝具事情視察団団長
小山株式会社 小山新造

平成 28 年度の海外視察は、最新の設備・システムを導入し洗濯工程における自動化が進んでいるといわれる西欧のスイスを訪問しました。スイスは、永世中立国でありテロや紛争によって機能が停滞する恐れが無いということで、多くの国際機関がこの地に本部を設置しています。今回は主要都市であるチューリッヒとジュネーブにある洗濯工場の視察と合わせて、国際機関の一つである WHO（世界保健機関）を訪問し、同機関で取組んでいる感染症対策について講義を受けました。

今回の訪問メンバーは各支部より総勢 25 名となり、製造部門だけでなく企画・管理部門、営業部門など様々な部署から参加されていました。また参加年齢も幅広く、20 代 2 名、30 代 6 名、40 代 10 名、50 代 2 名、60 代 3 名、70 代 2 名、平均年齢 45.6 歳と若くなりました。我々の業界は、ますます多様化する病院・患者ニーズに対応しつつ、今後も質の確保・向上を図りながら、安心・安全・清潔で衛生的な寝具類を継続してお届けしていくために一層の努力をしていく必要があります、そのことは責務であると常々認識しています。今回の視察において、参加された皆様がそれぞれの立場から今後の自社運営に活かせる有益な情報を探ろうと、熱心に情報収集されている姿は、まさにそのような認識が根底にあるものと感じられました。

視察先の工場はいずれも入荷から出荷におけるあらゆる工程で自動化された設備が導入されていました。インターネットを活用した受注システム、薬剤の自動投入システム、白衣の個人別・サイズ別自動ソーティング等、日本ではあまり目にしない設備を目の当たりにし、深く感銘を受けました。工場運営の自動化により省人化も図られており、雇用確保が困難な状況にある我が国にとっては、参考とすべき取組みが多々あったものと思われます。また、従業員の作業負荷も軽減されており、皆さんが笑顔でにこやかに作業されている光景は印象的であり、作業環境の大切さを改めて感じさせられました。

スイスでは供給者による過剰なサービスはあまり必要とされておらず、洗濯工場としては清潔な商品を提供することが最も重要なこととされていました。ですから、仕上がり品の角が揃ってなくても、多少のしわが残っていても問題とはせず、病院の商品とホテルの商品と一緒に洗濯することも普通に行われていました。顧客側も同様の認識をしており、問題とはならないようです。日本では、本来求められている価値以上の付加価値を提供することがサービスであり、顧客満足の向上に繋がるものと考えられており、両国での文化の違いを感じました。

品質やサービスに対する考え方の違いはあるものの、顧客を満足させるためには何をしなければいけないのかが明確となっており、それが工場運営に徹底されていました。我々の業界におきましても、顧客満足の観点から、サービスの供給者として、今まで築いてきた品質やサービスを低下させないことを協会のガバナンスとして事業活動に取り組む必要があります。それには「低コストで高品質なモノ造り」に対する相当なる覚悟と認識を持って業界全体が既成概念にとらわれずに創意

工夫する必要があります。

視察先ごとの詳細は、この後の各支部別レポートにて報告いたしますが、自動化により省人化を実現する取組みはもちろん、従業員満足が顧客満足に還元されていくという考えに基づいた工場運営等、今回の視察で学んだことが今後の各社及び業界全体の発展に活かされたら幸いです。

9日間という日程で行われた今回の視察は、途中、迫力ある名峰の数々や雄大に広がる氷河、のどかな牧草地などのスイスを代表する風景も堪能しながらのものとなり、皆様にとって有意義なものであったと思われます。特に、普段は一般公開されていないWHOを訪問できたことは貴重な経験ではなかったでしょうか。

最後になりますが、今回の視察に参加いただきました各支部の皆様方には全行程に亘りご協力をいただき誠にありがとうございました。また、当企画にご協力いただきました旅行会社の（株）ハーティ様、視察先にて分かりやすくガイドしていただきましたEID SYSTEM（株）の石井様、現地での視察を快くお受けいただいた病院リネン洗濯工場様、WHOの関係者様、関係いただいた皆様に心から御礼と感謝の意を申し上げます。



Opening Remarks

Good morning (Good afternoon). It is my great honor to be here today. My name is Shinzo Koyama, a chairman of Overseas Investigation Committee in Japan Hospital Bedding Association. I am also a head of this research delegation. Please accept our sincere appreciation for taking your time for us, although you are busy.

We offer the rental and laundry services for various linens in Japanese hospitals. I heard the similar business is well carried out here by the earth-conscious methodology with an efficient technique, to conserve a beautiful nature. Today, I look forward to learning how to apply such an advanced technology to our daily work in future.

Again, thank you very much for your kind hospitality.

冒頭のご挨拶

おはようございます（こんにちは）。

本日、皆様方を訪問させていただいたことを光栄に存じます。

私は日本病院寝具協会、海外調査委員会の委員長を務めます、小山新造と申します。今回の視察団のリーダーも兼任しております。ご多忙にもかかわらず、私共のために皆様方のお時間をお取りいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

我々は日本で病院の様々なリネン類のレンタルとクリーニングのサービスを提供しております。ここでは同様のビジネスを地球環境に優しい手法を用いて自然と共存しながら効率的に展開されていると伺っております。本日そのような優れた技術を私たちの日々の業務に生かすべく拝見させていただくことをとても楽しみにしています。

最後に皆様方のご好意に再度お礼を申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

Closing Remarks

First of all, thank you very much for your kind cooperation today. I am happy to learn your outstanding systems, which is the purpose of this study tour. I am deeply grateful for your hospitality. If possible, please keep in touch with us to contribute a better friendship between Switzerland and Japan.

Many Japanese have an image that Switzerland is a beautiful country with rich natural environment, and they would like to visit this country for sightseeing. We also look forward to the plan to visit Jungfrauoch and Zermatt for sightseeing in this study tour. On the other hand, Switzerland ranks a second highest GDP per person in the world and is a rich country with not only the service industries including banking business but the manufacturing industries including precision instrument business, watch business, pharmaceutical business and food business, I heard.

I learned Switzerland supports both of a beautiful nature and a richness of the economy at the same time by the environmentally friendly and highly efficient technologies supported by the effort of each person. We will try to incorporate new ideas and knowledges learned from you into our Japanese cleaning system and will try to make Japan like Switzerland in which a beautiful nature and rich industries exist together.

Finally, I wish your further success on business and your good health.

お礼のご挨拶

まず初めに本日の皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。
今回の視察の目的であった、皆様方の優れた事業システムを拝見することができ、大変光栄に存じます。皆様方のご親切に重ねて御礼申し上げます。もしよろしければ、今後のスイスと日本のよりよい関係構築のため、末永くお付き合いをさせていただければ幸いです。

多くの日本人は、スイスは自然豊かな美しい国というイメージを持っており、ぜひ観光に訪れたいと思っています。実際私たちも、ユングフラウヨッホやツェルマットの観光を予定しており、とても楽しみにしています。一方でスイスは2015年度の1人当たりのGDPが世界第2位であり、金融などのサービス業はもとより時計などの精密機械や医薬・食品などの産業により、大変豊かな国とお聞きしております。

今回視察に訪れてみて、皆様方1人1人の努力によって、環境に優しくかつ高生産性を維持することにより、スイスの美しい自然と経済の豊かさが両立していることを学びました。本日皆様方からお教えいただいた知恵や知識を我々のビジネスにも応用させていただき、日本もスイスのような自然と産業が調和する国になれるよう、努力していきたいと思えます。

最後に皆様方のビジネスのさらなるご成功とご健康をお祈りして私のご挨拶とさせていただきます。

～ 視 察 日 程 表 ～

日時	月日	都 市 名	時間	交通機関	適 用	食 事	
1	2016年	東京(成田)発 チューリッヒ着	08:00頃	LX 161 (12時間25分) 専用バス	午前8時頃 成田空港ご集合及びチェックイン スイス航空161便にてチューリッヒへ 到着通関後、専用バスにてホテルへ 宿泊：クラウンプラザ チューリッヒ 泊	機内食 2回	
	8/31 (水)		10:25 15:50			夕	○
2	9/1 (木)	チューリッヒ滞在		専用バス	『①ZWC AG／中央洗濯工場クール』視察 『②ZWZ AG／中央洗濯工場チューリッヒ』視察 宿泊：クラウンプラザ チューリッヒ 泊	朝	○
						昼	○
						夕	×
3	9/2 (金)	チューリッヒ～ ～グリンデルワルド		専用バス	専用バスにて、グリンデルワルドへ(約160km) 宿泊：クロイツ & ポスト 泊	朝	○
						昼	×
						夕	○
4	9/3 (土)	グリンデルワルド～ ～ツェルマット		専用バス	午前：自由視察 午後：専用バスにてツェルマットへ(約129km) 宿泊：ミラボー 泊	朝	○
						昼	○
						夕	×
5	9/4 (日)	ツェルマット滞在			終日：レポート整理日 宿泊：ミラボー 泊	朝	○
						昼	×
						夕	×

～ 視 察 日 程 表 ～

日時	月日	都 市 名	時間	交通機関	適 用	食 事		
6	9/5 (月)	ツェルマツト～ ～ジュネーブ	06:00 13:00	専用バス	早朝シャモニーへ(約150km)	朝	○	
					10:00～13:00 モンブラン視察	昼	○	
					視察後、ジュネーブへ(約90km)	夕	○	
					15:00～17:00 『③世界保健機関／WHO』感染症対策レクチャー			
					宿泊：ワーウィック ジュネーブ 泊			
7	9/6 (火)	ジュネーブ滞在		専用バス	『④Blanchisserie du Lemane／ランドリー レマン』視察	朝	○	
					『⑤Centrale de Traitement du Linge／ 大学病院附属洗濯工場』視察	昼	○	
					宿泊：ワーウィック ジュネーブ 泊		夕	○
8	9/7 (水)	ジュネーブ発 チューリッヒ着 チューリッヒ発	11:05 12:00 13:00	専用バス LX 2809 (0時間55分) LX 160 (11時間50分)	専用バスにて空港へ	朝	○	
					スイス航空2809便にてチューリッヒへ	機内食 1回		
					到着後、ゲート移動乗り継ぎ			
					スイス航空160便にて帰国の途へ			
					宿泊：機中泊			
9	9/8 (木)	東京(成田)着	07:50		到着通関後、解散	機内食 1回		

スイス医療寝具事情視察 参加者名簿

支 部 名	氏 名	会 社 名	役 職
団 長	小 山 新 造	小山(株) 海外調査委員長	代表取締役社長
北 海 道	鹿 島 仁 志	ワタキューセイモア(株)	業務本部 課長
東 北	貝 崎 憲 二	ワタキューセイモア(株)	営業本部 係長
	柳 原 正 俊	秋田基準寝具(株)	代表取締役社長
	柳 原 弘 幸	秋田基準寝具(株)	企画管理室
関 東 甲 信 越	佐 藤 裕 之	(株)柴橋商会	船橋工場 工場長
	柴 崎 貴 之	(株)栄久	取締役
	鈴 木 大 裕	野口(株)	東京工場 工場長
	高 山 知 己	(株)東基	医療福祉営業部 次長
	森 川 直 哉	ワタキューセイモア(株)東京支店	首都圏営業所
東 海 北 陸	浅 井 利 明	(株)トーカイ	執行役員
	小野寺 康浩	ワタキューセイモア(株)名古屋支店	生産部 生産部長
近 畿	小 林 健	ワタキューセイモア(株)近畿支店	城陽工場 工場長
	山 本 晃 嗣	福井県基準寝具(株)	代表取締役社長
	吉 川 武	三栄基準寝具(株)	代表取締役社長
中 国	阿 部 正 和	西日本医療サービス(株)	総務部 部長
	原 田 英 俊	ワタキューセイモア(株)中国支店	生産部 部長代行
四 国	藤 田 憲 祐	ワタキューセイモア(株)四国支店	高知営業所 係長
	光 田 恵 之	四国医療サービス(株)	総務部 部長
九 州	岩 元 義 弘	(株)カクイックス	代表取締役社長
	柏 原 正 周	九州医療サービス(株)	取締役副社長
	松 山 俊 博	南九イリヨー(株)	専務取締役
	菊 池 晃	南九イリヨー(株)	事業本部 パリューセンターリーダー
事 務 局	小 山 伸 之	小山(株)	寝具リース事業部 管理部 部長
	前 田 昌 宏	小山(株)	医療福祉事業部 管理部 部長

訪問先及び報告書作成グループ

	視察先	報告書担当支部		
		支 部 名	氏 名	会 社 名
1	9/1(木) ZWC AG／中央洗濯工場クール (ランドリー工場)	北 海 道	鹿島 仁志	ワタキューセイモア(株)
		東 北	貝崎 憲二	ワタキューセイモア(株)
			柳原 正俊	秋田基準寝具(株)
			柳原 弘幸	秋田基準寝具(株)
2	9/1(木) ZWZ AG／中央洗濯工場チューリップ (ランドリー工場)	関 東 甲 信 越	佐藤 裕之	(株)柴橋商会
			柴崎 貴之	(株)栄久
			鈴木 大裕	野口(株)
			高山 知己	(株)東基
			森川 直哉	ワタキューセイモア(株)東京支店
3	9/5(月) 世界保健機関/WHO (感染症対策レクチャー)	東 海 北 陸	浅井 利明	(株)トーカイ
			小野寺 康浩	ワタキューセイモア(株)名古屋支店
		近 畿 ①	小林 健	ワタキューセイモア(株)近畿支店
			山本 晃嗣	福井県基準寝具(株)
4	9/6(火) Blanchisserie du Lemman / ランドリー デュ レマン (ランドリー工場)	四 国	藤田 憲祐	ワタキューセイモア(株)四国支店
			光田 恵之	四国医療サービス(株)
		九 州	岩元 義弘	(株)カクイックス
			柏原 正周	九州医療サービス(株)
			松山 俊博	南九イリヨー(株)
5	9/6(火) Centrale de Traitement du Linge (CTL) / 大学病院付属洗濯工場	近 畿 ②	吉川 武	三栄基準寝具(株)
			小山 伸之	小山(株) 事務局
			前田 昌宏	小山(株) 事務局
		中 国	阿部 正和	西日本医療サービス(株)
			原田 英俊	ワタキューセイモア(株)中国支店

視察先

9/1(木) ZWC AG／中央洗濯工場クール

9/1(木) ZWZ AG／中央洗濯工場チューリップ

9/5(月) 世界保健機関/WHO(感染症対策レクチャー)

9/6(火) Blanchisserie du Lemman /ランドリー デュ レマン

9/6(火) Centrale de Traitement du Linge(CTL)／大学病院付属洗濯工場

参加者集合写真



世界保健機関/WHO ジュネーブ

【前列 左より】

岩元 義弘(カクイックス)・Azzouz Chedly (WHO)・小山 新造(小山)

吉川 武(三栄基準寝具)・柳原 正俊(秋田基準寝具)

【中列前方 左より】

柏原 正周(九州医療サービス)・柳原 弘幸(秋田基準寝具)・高山 知己(東基)

浅井 利明(トーカイ)・佐藤 裕之(柴橋商会)・小野寺 康浩(ワタキューセイモア)

小山 伸之(小山)

【中列後方 左より】

藤田 憲祐(ワタキューセイモア)・石井 孝政(EID SYSTEM)・鈴木 大裕(野口)

山本 晃嗣(福井県基準寝具)・鹿島 仁志(ワタキューセイモア)・小林 健(ワタキューセイモア)

原田 英俊(ワタキューセイモア)・前田 昌宏(小山)・貝崎 憲二(ワタキューセイモア)

【後列 左より】

菊池 晃(南九イリョー)・松山 俊博(南九イリョー)・阿部 正和(西日本医療サービス)

森川 直哉(ワタキューセイモア)・光田 恵之(四国医療サービス)・柴崎 貴之(栄久)

【敬称略】

訪問国基本データ

国 名	スイス連邦
首 都	ベルン
面 積	約41,277km ² (世界136位) ※九州の1.1倍の面積に相当
人 口 (2013年)	8,081,482人(世界96位)
人口密度	204.51人/km ²
公 用 語	ドイツ語・フランス語・イタリア語・ロマンシュ語
通 貨	スイスフラン(CHF/SFr)
通貨レート (2016/9/14)	1スイスフラン＝105.36円

概要

国際社会の中で「スイス」という国を語るとき、その特徴として挙げられるのが、永世中立国であること、そして国際人道主義発祥の地であるということです。国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) や世界貿易機関 (WTO) など、多くの国際機関がこの地に本部を置いており、また、国際オリンピック委員会 (IOC) や国際サッカー連盟 (FIFA)、国際バレーボール連盟 (FIVB)、国際アイスホッケー連盟 (IIHF) など、多くのスポーツ関連団体の本拠地にもなっています。これは、スイスが中立国であるため、テロや紛争によってその機能が停滞する危険性が少ないということ、そしてホスト国としての公正性を保つことができるということなどに由来していると考えられます。スイス自身も外交政策として、国際機関の誘致や中立外交を積極的に展開しています。また、ヨーロッパにおける非EU加盟国という立場からも、スイスは国際社会において独自の存在感を発揮しています。



日本病院寝具協会 医療寝具事情視察先

視察年度	視 察 国
平成14年	アメリカ
平成16年	ドイツ・ベルギー
平成18年	オーストラリア
平成20年	イギリス・スウェーデン・フィンランド
平成22年	オランダ・ベルギー
平成24年	スペイン・フランス
平成26年	カナダ
平成28年	スイス

目 次

北海道支部・東北支部レポート

ZWC AG 1 ～ 5

・中央洗濯工場クール（ランドリー工場）

関東甲信越支部レポート

ZWZ AG 6 ～ 10

・中央洗濯工場チューリッヒ（ランドリー工場）

東海北陸支部・近畿支部①

WHO 11 ～ 15

・世界保健機関（感染症対策レクチャー）

四国支部・九州支部

Blanchisserie du Leman 16 ～ 19

・ランドリー デュ レマン（ランドリー工場）

近畿支部②・中国支部

Centrale de Traitement du Linge (CTL) 20 ～ 24

・大学病院附属洗濯工場

スイスの医療保険事情 25 ～ 26

北海道・東北支部レポート

北海道支部

ワタキューセイモア(株) 鹿島 仁志

東北支部

秋田基準寝具(株) 柳原 正俊

柳原 弘幸

ワタキューセイモア(株) 貝崎 憲二

訪問先 ZWC AG (Zentralwäscherei Chur AG) /中央洗濯工場クール . . .【図①】

住 所 Pulverm ü hlestra ß e 84 7000 Chur

T E L +41(0)81- 286-03-03

F A X +41(0)81- 286-03-09

U R L <http://www.zwc.ch/>

面談者 Claudio Hauser (CEO) . . .【図②】

視察日 2016 年 9 月 1 日 (木)

1. 企業概要

1975 年に病院の協同組合の会員のために手ごろな価格、自立して洗濯をする目的で設立。現在では病院以外からのリネンやユニホーム、個人の衣類、カーペットなど幅広く取扱っている。品質、満足度、永続的な改革を基本原則としている。2011 年に 2 つの管理システムを導入し、2014 年に病院リネンのために作られた最高の欧州衛生基準の認定を受けている。

2. 工場概要

(1) 種類：病院・福祉施設・ホテル・レストラン・工場・個人向け洗濯

(2) 売上：5.5millionCHF (5 億 7 千万円)

(3) 売上比：医療・福祉施設 (68%) ホテル・レストラン (15%) 工場他 (17%)

(4) 生産量：10 t / 日

(使用量：水 92,000ℓ/日、電気 2,150kwh/日、ガス 12,100kwh/日)

(5) 従業員：58 人～60 人 (70%が女性, 平均年齢 42 歳、国籍 14 ヶ国, 離職率 6.5%)

(6) 工場稼動：月曜日～木曜日 7：00～17：00、金曜日 7：00～16：30

(7) ボイラー：天然ガス

(8) 品質・環境管理：ISO9001・ISO14001 認定、RAL 取得、CO₂排出縮小契約

3. 調査項目

(1) 入荷・仕分け

① 病院からの不潔物 (リネン・ユニホーム) はビニールに入って届く。不潔物に

は IC チップ又はバーコードが内蔵されており、機械に通すことによって、種類・枚数を読み取り入荷物を把握。・・・【図③】

- ② 開封した不潔リネンはベルトコンベアで中二階に上げ、品目毎に人が仕分けを行う。

(2) 洗濯・乾燥工程

- ① 40℃～60℃の温水で 8 分間洗濯（連続式洗濯機 1 基）。・・・【図④】

- ② 殺菌消毒には Burnus 社が提供する過酢酸及び薬剤を使用。薬剤類は洗濯機すべてに自動供給され、一括管理されている。薬剤が空になると警報機・ランプで周知され、洗濯機も止まる仕組みになっている。薬剤投入システムのメンテナンスは月 1 回。・・・【図⑤】

- ③ 乾燥機は全 4 基で連洗投入から乾燥投入までは自動化されていた。また、乾燥機のダクトが機械ごとに工場内に設置されていた。乾燥後は前面に排出され、カーゴで受け取る仕組みとなっており、乾燥後商品は人の手により仕上げ場まで運んでいた。

(3) 仕上げ工程

ロール 2 基、自動タオルたたみ機 1 基にて仕上げられていた。タオルについては結束の変わりに機械によりラッピングされ、結束と簡易的な包装を兼ねていた。・・・【図⑥】

(4) 出荷、配送

配送圏は、直径 160km。清潔物を納品した同一車両で不潔物を回収し、それぞれをビニール梱包することで分別している。

タブレット端末を各客先に置き、その端末を通して受発注管理などが行われており、一部を除き紙媒体は使用しない体制が整えられている。

4. 所感

ZWC AG（中央洗濯工場クール）では、病院リネン類の洗濯が最高品質であるという考えのもと、病院リネンとホテル・レストラン等のリネン類を同じ場所で洗濯している。日本では考えられないことである。

全体的な印象としてオートメーション化が進んでおり、機械により生産性を計れるシステムとなっている。リネン類の受発注はインターネット回線による PC 管理、また白衣・患者衣には 100%IC チップが入っており、不潔物リネンのカウントは人の手で行わなくても、機械に通せば自動的にカウントできるシステムであり、日本のような伝票でのやりとりは行われていない様子であった。今後、日本においても就労人口が減少することを考慮すればオートメーション化は必要不可欠であるため参考として行きたい。

しかし、品質という部分では課題があると思われる。特にたたむ機械については、多少アバウトな部分も見受けられた。これはスイスという国民性もあると思われるが、一番はパートナーとして、お互いに尊重し合える関係性を築いているから実現できることだと考える。日本の顧客はコストの割に要求水準が高いため、多少の品質（見栄え）の低下に対

して、理解を得られるかどうか大きな問題である。

不潔物・感染物の洗濯について日本とのギャップを感じた。60℃程度の熱の力と薬剤の力で殺菌消毒しており、本当に問題が起きないのか疑問を感じた。また、不潔物を扱う従業員の方々は、手袋やマスク、予防衣等を着用しておらず、標準予防策としては日本の方が進んでいる。

リネン類における欧州最高の衛生基準である RAL を取得しているが、品質・衛生を比較しても日本の基準が優れていると実感できた。

最後に、今後は自信を持って商品提供をするとともに、リネンサプライ業界の大きな問題である人手不足を解消するため、更なる工場の効率化を病院とともに確立していく必要があると感じた。今回の経験を糧に、業界の益々の発展に寄与出来るよう、努力していきます。

【図① ZWC AG】



【図② Claudio Hauser (CEO) (右)】



【図③ IC チップ】



【図④ 連続式洗濯機】



【図⑤ 薬剤投入システム】



【研修風景】



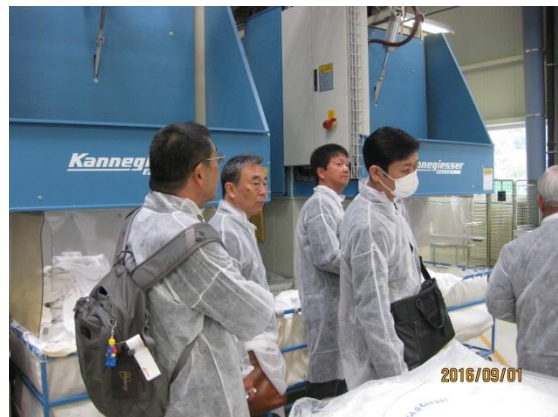
【ストックヤード】



【図⑥ 自動タオルたたみ機】



【視察風景】



【カートウォッシャー機】



【集合写真】



関東甲信越支部レポート

関東甲信越支部

(株)柴橋商会	佐藤 裕之
(株)栄久	柴崎 貴之
野口(株)	鈴木 大裕
(株)東基	高山 知己
ワタキューセイモア(株)	森川 直哉

訪問先 ZWZ AG / 中央洗濯工場チューリッヒ

住所 Neue Hard 12 8005 Zurich

T E L +41 44 525 80 80

F A X +41 44 525 80 81

面談者 Ottavio Venturini

…【図①】

視察日 2016 年 9 月 1 日（木）

1. 施設概要

今回の訪問地は、スイス最大の都市でチューリッヒ州の州都でもあるチューリッヒである。スイス中央部にあり、アルプス山脈の北側 30 キロメートルにあるチューリッヒ湖の北端に位置し、森林に覆われた東西の丘陵地に周囲を囲まれた美しい都市。チューリッヒ市の人口は約 390,000 人で、チューリッヒ都市圏地域には 200 万人近くが居住している。チューリッヒは鉄道、道路、航空など交通の要衝で、チューリッヒ国際空港やチューリッヒ中央駅共にスイスでは最大規模で交通量が多いことが特徴。

訪問施設は、1967 年に公共医療の洗濯物を取り扱う為に、国営企業として設立された。チューリッヒ地域の 85 の病院、診療所、高齢者施設へ洗濯物やリネン管理サービスを提供している。品質、衛生、シンプルかつ熟成したプロセスに重点を置いており、繊維製品の調達に特化し、レンタル・リースを主に行っている。

(1) 概要

- ① 敷地面積 4,600 m²
- ② 建物面積 3,000 m²
- ③ 生産量 約 45t/日 衣類：約 35,000 着/日
- ④ 従業員 170 人 国籍：15 カ国 女性比率：71%
- ⑤ 勤務体制 週 5 日勤務 43 時間/週

(2) 主要設備

設備名称	詳細
連続式洗濯機	3 基 (16 槽×1 基、17 槽×1 基、19 槽×1 基)
バッチワッシャー	7 基 (40kg×2 基、30kg×2 基、15kg×2 基、8kg×1 基)
乾燥機	10 基 (50kg×8 基、20kg×2 基)
ロールアイロナー	2 基 (3,500mm 幅、3,000mm 幅)
トンネルフィニッシャー	2 基
カーゴ洗浄システム	1 基

2. 調査項目

(1) 入荷

・・・【図②】

投入コンベア前の仕分けポケット (20 ポケット) を使用し、被洗物の事前仕分けを行っている。(作業人員：約 5 名)

白衣については、事前検査はポケットチェックのみで、員数検査は全てに IC チップが取り付けられている為、人の目では実施されていません。

(2) 洗濯

工業用水を利用しており、軟水器を通して pH6.8 位まで軟化し洗濯用水として使用している。また、紫外線による消毒も行ってから洗濯水として注入しており、水へのこだわりを感じた。

連続式洗濯機は 3 基、バッチワッシャーは 7 基設置されていた。いずれも過酢酸による 60℃の洗浄を行っており、洗剤は自動投入システムを導入し、メーカー (ブーニス) とのリース契約でメンテナンスを月 1 回実施している。

・・・【図③】

(3) 仕上げ

① 白衣類

白衣については、「IC チップ」を全面導入しており、白衣投入機 (10 台) にてトンネルフィニッシャーで仕上げていた。全てノンプレスの為、ユニフォームフォルダーにてたたみ作業を行っていました。出荷も「IC チップ」により効率よく処理をされていた。

② タオル類

タオル類は、乾燥後にエアーシューターを使用して仕上げエリアに運んでいた。カゴで受け、品種別に各フォルダーに運んでいた。

③ シーツ類

シーツ類は、前処理 (1 名) を行い「ほぐし機」を使用して投入 (2 名) を行っていた。

効率を重視し、ロール前にはカーネギッサ製の 4 人架けバッファレーンを採用し、3,500mm 幅のロールにて、2 レーンの投入を可能とし、約 3,000 枚/時間の処理を行っていた。

・・・【図④】

(4) 出荷 ……【図⑤】

製品は、「結束なし」若しくは「紙テープ」を使用しており、紐跡が残らないように配慮をしていた。出荷時は、カート全体をビニールカバーで保護しており、衛生面に重要視されていた。

(5) 衛生管理

- ① 不潔と清潔の隔壁による区分。
- ② 手指消毒機の設置。
- ③ 見学時も白衣着用の厳守。(不潔用と清潔用の徹底)
- ④ カートウォッシャー機の導入。

……【図⑥】

(6) その他

- ① 熱交換機による省エネ。
- ② 過酢酸へのこだわり。(衣類へのダメージ対策)
- ③ 製品の菌検査実施。
- ④ RAL 基準の厳守。

3. 所感

スイス（チューリッヒ）を中心に、病院リネン及び白衣類の高い品質基準で生産を行っていることを実感した。

ホーヘンシュタイン研究所監修のもと、スイス国内工場として、最初に「RAL」を取得し、基準を満たし、且つ独自の基準で、得意先からの「満足」を追求し、製品を提供していることが理解出来ました。

顧客満足を重視している為、高い品質によりコスト高（原価増）を生じていることに、疑問視される部分があるが、それよりも衛生管理を徹底しており、カート洗浄等の利益にならない部分にも力を入れており、強いこだわりを感じた。

過去の海外視察において、海外の品質はあまり高くないとの所感が多く、あまり期待はしていませんでしたが、RAL 基準遵守や品質・効率共に高い水準だと感じた。

今後、日本は超高齢化社会となり、人材の確保等が困難になってくると思われる。その中でも我々は安全で安心な商品作りが求められる。スイスのように人件費が高く、オートメーション化が進んだ環境をモデルに、日本全体で更なる向上を目指す「意識」が強く持たされた視察であった。

【図① 面談者（左）】



【図② 入荷仕分け作業】



【図③ 洗剤自動投入】



【図④ 4人架けバッファレーン】



【図⑤ 製品出荷】



【図⑥ カートウォッシャー機】



【研修風景】



【視察風景】



【ストックヤード】



【出荷前商品①】



【出荷前商品②】



東海北陸・近畿支部①レポート

東海北陸支部

(株)トーカイ 浅井 利明

ワタキューセイモア(株) 小野寺 康浩

近畿支部①

福井県基準寝具(株) 山本 晃嗣

ワタキューセイモア(株) 小林 健

訪問先 World Health Organization (世界保健機関・本部) ……【図①・②】

住 所 Avenue Appia 20 1211 Geneva 27 Switzerland

T E L +41 22 791 21 11

F A X +41 22 791 31 11

面談者 Azzouz Chedly ……【図③】

視察日 2016 年 9 月 5 日 (月)

1. 世界保健機関についての概要説明

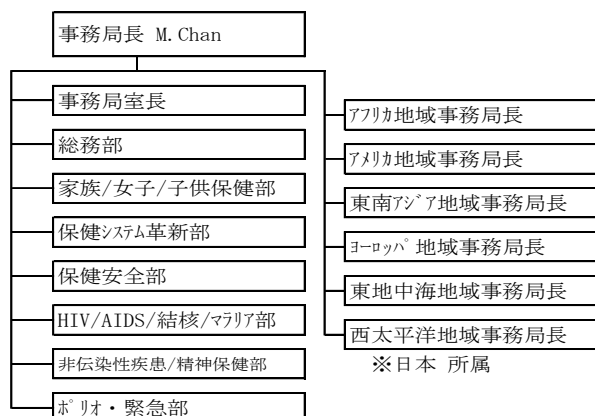
(1) 設立の経緯と目的

世界保健機関 (WHO : World Health Organization) は、1946 年にニューヨークで開催された国際保健会議で採択された世界保健機関憲章に基づき、世界の全ての人々の健康の保護、増進のための国際保健活動を計画、実施、調整することを目的に、国際連合 (United Nations) の一つの専門機関として 1948 年 4 月 7 日に設立されている。「すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」(憲章第 1 条)を目的としている。使われている紋章は、国連紋章の中央に医術の神といわれているヘビとギリシャの医神イスキュレピウス (Aesculapius) の杖を配したものである。 ……【図④】

(2) 施設概要

2016 年 9 月現在、194 の国と地域が加盟。今回視察した本部 (スイス・ジュネーブ) 以外に、世界に 6 つの地域事務所が設置され、各事務局が同等の力を持っている。

毎年 1 回 5 月にジュネーブで世界保健総会 (World Health Assembly) が開催され、世界保健機関の活動内容を審議し、基本方針、事業計画、予算を決定している。総会を補う組織として総会で選出される 34 ヶ国が推薦する執行理事会が設けられており、これは毎年 1 月と 5 月に開催される。理事会は、総会に提出する重要議題の準備、総会で審議されない細かな問題を審議する。



総会や理事会で決定されたことを実施するのが事務局で、その事務局長は総会によって任命されている。事務局の本部はスイスのジュネーブに在り、また、アフリカ、アメリカ、東地中海、ヨーロッパ、南東アジア、西太平洋など6ヶ所の地域事務局がある。

- ・アフリカ（コンゴ・ブラザヴィル）
- ・アメリカ（アメリカ合衆国・ワシントン D.C.）
- ・東地中海（エジプト・カイロ）
- ・ヨーロッパ（デンマーク・コペンハーゲン）
- ・東南アジア（インド・ニューデリー）
- ・西太平洋（フィリピン・マニラ）

（3）世界保健機関の活動内容

世界保健機関は、国際保健事業の指導・調整機関として機能することになっており、各国と各種の国際協力事業を行っている。事業活動は、下記の通りである。

- ① 医学情報の総合調整
- ② 国際保健事業の指導的且つ調整的機関としての活動
- ③ 保健事業の強化についての世界各国への技術協力
- ④ 感染症及び他の疾病の撲滅事業の奨励・促進
- ⑤ 保健分野の研究の促進・指導
- ⑥ 生物学的製剤及び類似の製品、食品に関する国際的基準の発展・向上

主な活動は各国の衛生に関する基準を定めることである。世界保健機関の感染症撲滅運動による最初の成功は「天然痘」の撲滅である。公衆衛生における、直近の課題は大腸菌、ポリオ、エボラ出血熱、ジカ熱の撲滅に対する取り組みである。

（4）活動資金

世界保健機関の活動資金は、加盟国の義務的分担金（各国の分担率は国民所得等に基づいて算定される国連分担率に準拠）により賄われる通常予算と加盟国及び民間団体等からの任意拠出に基づく予算外拠出金からなっている。

活動資金の内訳は、財団・ボランティアからの寄付が75%、加盟国からの分担金が25%となっている。ちなみに一番寄付額が多いのはビルゲイツ財団で、小児麻痺やHIV撲滅運動に活用されている。企業からの直接的な資金援助は一切無いとのことであるが、医薬品メーカーとの協力開発はある。

世界保健機関の総予算規模は2014－2015年で約6億8,400万ドルである。各種機関、団体からの寄付金を加えると、総予算は約40億ドルになる。

2. 感染症対策の講義

（1）感染予防

感染ルートは大きく分けて3つある。

- ① 接触による感染
- ② 空気による感染
- ③ 飛沫による感染

感染予防策（スタンダードプリコーション）

- ① 手洗い励行（50%以上の予防が出来、予防策の基本となる）
- ② 手袋、マスク、ゴーグルの着用
- ③ 使用済みリネン、器材の適切な取り扱いと処理（特に注射針等の安全管理）
- ④ 環境の整備

（2）セレウス菌（*Bacillus cereus*）

自然界に存在する菌であり感染例は多くはない。2015年にフランスで母乳バンクが感染ルートとなり、有名一流病院で2人の乳児の死亡事故が報告されているが本件は非常に珍しいアクシデント的な例である。日本においては、医療環境が衛生的で非常にレベルが高い為、セレウス菌が問題となっていると思われる。世界的には重要視されている問題とは言えないが、自然界に存在する菌の為、ゴミ収集やリネン回収時の取り扱い、洗濯（消毒）方法を適切に保つ必要がある。

世界保健機関が推奨するセレウス菌対策は大きく分けて4つある。

- ① IPC（Infection Prevention and Control）スタンダードの奨励
- ② セレウス菌のリスクに応じたスタンダード基準の見直し
- ③ ベッド、マットレスの清潔保持
- ④ ランドリーにおけるプロセスの監視（雑菌軽減）

3. 所見

世界保健機関 ジュネーブ本部において、感染管理をテーマとした講義を受講することで、世界保健機関の国際社会における役割の理解を深めることが出来た。

世界保健機関は、感染症対策において、各国の衛生環境レベルに応じた対策を講じ、特に途上国の人々の健康を守ることに貢献している。

また、各国から収集したデータを感染症の流行とともに分析、情報提供することで、地域における感染の拡大防止にも貢献している。

こういった取り組みの他、IPC（感染予防と管理）を国際的に標準化することで、各国の患者、医療従事者の安全を確実なものとするにも努めている。

今回の講義において、我々の業務においても、感染症対策には、その感染症の特性をよく理解し対策を講じることと、スタンダードプリコーション順守の重要性を再認識した。

【図① 世界保健機関 本部】



【図②世界保健機関 会議室】



【図③ 面談者（左）】



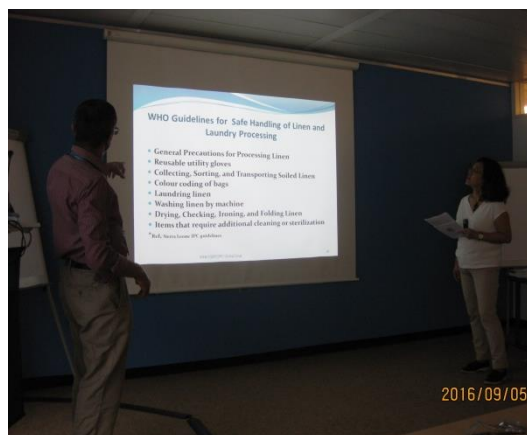
【図④ 国連紋章】



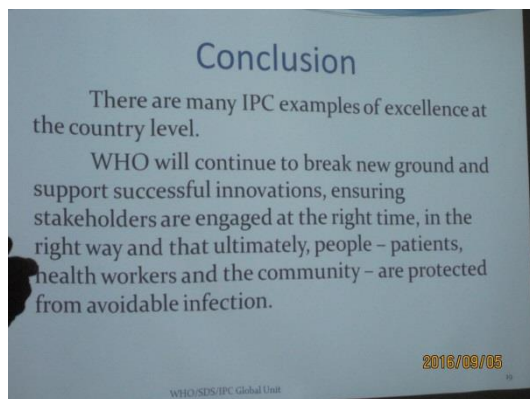
【集合写真】



【感染予防 講習①】



【感染予防 講習②】



【講習風景】



【御礼】



四国・九州支部レポート

四国支部

四国医療サービス(株) 光田 恵之
ワタキューセイモア(株) 藤田 憲祐

九州支部

(株)カクイックス 岩元 義弘
九州医療サービス(株) 柏原 正周
南九イリョー(株) 松山 俊博
南九イリョー(株) 菊池 晃

訪問先 Blanchisserie du Lemman (ランドリー デュ レマン)

住 所 Rue du Pre-de-la-Fontaine 10, 1217, Meyrin

TEL +41(0)22 782 90 99

FAX +41(0)22 782 90 05

面談者 Claude Charles Miffon (代表者)

・・・【図①】

Christan Pittet (マーケティング・営業担当)

Philippe Pittet (生産担当)

視察日 2016年9月6日(火)

1. 施設概要

視察先のランドリー デュ レマン社は、スイス連邦ジュネーブ州の北部に位置するメイランに在る。メイランは人口約2万2千人、面積は約10 km²あり、同じジュネーブ州のグラン＝サコネ、サティニー、ヴェルニエに隣接しているほか、北側をフランス・アン県との国境に囲まれている。また北東側フランス国境をまたいでジュネーブ・コアントラン空港があり、北の国境をまたいで欧州原子核研究機構(CERN)がある。その他、時計・宝飾品のショパール、化学会社のデュポン、ヒューレット・パッカード・ヨーロッパなどの本社がある。

ランドリー デュ レマン社は、2011年に設立。病院、医療施設のリネン洗濯を中心にホテルリネン、レストラン等のリネン類の洗濯を行っている。元々、多用途の工場でランドリー工場ではなかった建物を再生して活用、その際設計段階からKannegiesser社と共同で計画、最新のKannegiesser社製の機械を導入し、大幅なエネルギーと水の節約を実現している。

(1) 概要

- ① 生産量 15t～18t/日
- ② 売上比率 65%・・・病院リネン
35%・・・その他(レストラン・ホテル等)
《洗濯処理重量では50%ずつ》

- ③ 従業員数 43 名（生産 35 名、ドライバー 5 名、オフィス内 3 名）
社員は全て正社員。スペイン人やポルトガル人等、スイス人以外の従業員が多い。
- ④ 稼働時間 7:00～16:00（内 8.5 時間勤務、30 分昼休み）
基本的には週 42.5 時間勤務だが、35 時間～50 時間勤務の個別契約者もいる。（月曜日～金曜日稼働、土曜日は清掃員が清掃する）

2. 調査項目

（1）工場レイアウト

・・・【図②】

工場建屋の比較的広い駐車場敷地側を考慮して U 字型。しかし、機械操作や他の作業を複数兼ねるような多能工配置といったいわゆるトヨタ生産方式とはなっていない。清潔エリアと不潔エリアは約 4 メートルの壁で仕切られ、上部は開放されている。

（2）入荷・仕分け

・・・【図③】

リネンバッグまたは、ビニール袋に入れられた不潔リネンがカーゴに積まれた状態で入荷される。不潔リネンはバッチワッシャーで洗う商品と連続洗濯機で洗う商品を分けられる。連続洗濯機で洗うリネンは顧客ごとに分けられた投入口に仕分けて投入され 45kg になれば自動的に洗濯機に運ばれる仕組みとなっている。投入口の上部には、ディスプレイがあり、顧客名と重さが表示されている。ガス消毒庫は設置されていない。

（3）洗濯工程

バッチワッシャーは Kannegiesser 社製の FAVORIT plus190kg をメインに使用。機械全面から不潔品を投入し、終了後は反対側（裏側）から取り出す。新水使用量は 1kg の洗濯に対して約 7L、水の約 65%は再利用しているため、機械上部にリサイクル水タンクが設置されている。また機械側で重量を計算して、無駄なく効率的に洗濯を出来るようになっている。他に 80kg・30kg のバッチワッシャーが設置されている。

連続洗濯機は 50kg 13 槽が新旧 1 基ずつ。サイクルタイムは 120 秒と 150 秒。機械内の洗濯物は全てパネルにて把握されており、洗濯物の種類（色）が変わる場合は、1 槽空けるようにしている。新水使用量は 1kg の洗濯に対して新しい連続洗濯機が約 3.8L、古い連続洗濯機が約 4.1L を使用している。洗濯水温度は 60℃～65℃、過酢酸を用いて消毒している。

また洗濯槽内を大気圧より低く（0.5bar=0.05MPa）した低気圧システムの設備を採用することで、省エネ、節水型となっている。排水処理はせず、工場外排水している。

（4）仕上げ

・・・【図④⑤】

加熱オイル方式のロールを 4 台使用。不潔品の仕分けエリアから、Kannegiesser 社製のシステムによって、全ての商品情報を把握しているため、ロールの出口には従業員がおらず、全てベルトコンベアで出荷仕分け箇所まで運ばれている。

タオルに関しては、900 枚/時間の生産をしているが、オプションを付けることで 1,200 枚以上の生産が可能である。

（５）出荷

ユニフォームを含むリネン類は、重量によって請求をするため、出荷時に計量している。ユニフォームは小さな顧客はサイズで分けて出荷されるが、大きな取引先では個人別に分けて出荷している。また出荷の際、カーゴにはビニールカバーまたは、エコロジカルな布製のカバーが掛けられ、清潔な状態で配送できるよう心掛けている。

３．所感

スイスはEU との間で人の自由な異動に関する相互協定を締結しており、労働者の約 25% が外国人労働者である。今回視察したランドリー デュ レマン社もスペイン人やポルトガル人・トルコ人など、スイス人以外の労働者が多い。そのため人材を集めることは容易であり、昨今日本で問題となっている労働者不足の心配がないため非常に羨ましく感じた。

また、工場設立の段階から、Kannegiesser 社と協同で計画・運用しており、様々な事がオートマチック化されていた。特にロールに投入した後は、人の手を加えることなくベルトコンベアで出荷仕分け箇所まで運ばれている様子は非常に感動した。更に、エネルギー単価が高いため、それらの抑制にも注力され、ロープレッシャーの蒸気システムや水の再利用・節水といった省エネが行われていた。

一方で、実際に働いている従業員の作業スピードを見てみると、お世辞にもスピーディーとは言える状態ではなかった。特にピローのロール投入口には、蓄積投入数を示すカウンターが配備されていたが、あくまでカウントしているだけで特に生産性を上げるために活用はされていなかった。（個人の生産性をサラリーに反映はしていなかった）

最後に、今回視察したスイスの中でも、RAL を取得して最高の欧州衛生基準を取得するなど品質に拘っている工場や、ランドリー デュ レマン社のようにメーカーと協力をして、省力化に力をいれている工場等、様々な工場を視察できたことは非常に良かった。今回勉強したこと、感じたことを大切に、今後更なる顧客満足度の向上を目指して日々努めて行きたいと感じた。

【図① 面談者】



【図② 工場内レイアウト】



【図③ 連続洗濯機投入口】



【図④ ロール投入口】



【図⑤ ベルトコンベア】



【御礼】



【集合写真】



近畿②・中国支部レポート

近畿支部②

三栄基準寝具(株)	吉川 武
小山(株)	小山 伸之
	前田 昌宏

中国支部

西日本医療サービス(株)	阿部 正和
ワタキューセイモア(株)	原田 英俊

訪問先 Centrale de Traitement du Linge (大学病院附属洗濯工場) . . . 【図①】

住 所 Ch. Du Petit-Bel-Air 2 CH-1225 Chene-Bourg

T E L +41 (0) 79-553-62-89

F A X +41 (0) 22-305-42-86

面談者 YOANN LEMIEUX

U R L <http://www.hug-ge.ch/>

視察日 2016 年 9 月 6 日 (火)

1. 施設概要

今回の訪問地であるジュネーブはスイスの西の端に位置し、レマン湖という大きな湖のほとりにある街であり、WHOをはじめとする各種国連機構が数多く集まる国際都市である。ジュネーブは中世から残る町並みとレマン湖の大噴水など美しい観光スポットが点在し、また日帰りでアルプス、モンブランの観光ができる年中外国人観光客の絶えない街である。

ジュネーブ大学病院は 2,350 床と 8,300 人のスタッフを抱え、年間 50,000 人の患者に対応する大病院。視察先である洗濯工場は 1984 年にジュネーブ大学病院の一部のリネンを処理するために設立され、1998 年に近代的な仕分けシステムを導入したことでジュネーブ大学病院の洗濯物全てを処理できるようになった。

(1) 概要

- ① 建物 延床面積 4,800 m² (2 階建て)
- ② 従業員数 50 人
- ③ 稼働時間 40 時間/週 (月～木 8.5 時間、金 6.5 時間)
- ④ 生産量 80t/週 (ジュネーブ大学病院のみ)
シーツ 8,000 枚/週、毛布カバー 6,000 枚/週
白衣類 55,000 着/週
- ⑤ 集配車両 2 台 (8t 車と 4t 車を各 1 台) ×5 往復/日

(2) 主要設備

設備名称	詳細
連続式洗濯機	2 基 (50kg-15 槽×2 基)
バッチワッシャー	5 基 (32kg×3 基、50kg×1 基、30kg×1 基)
乾燥機	10 基 (50kg×10 基)
ロールアイロナー	2 基
トンネルフィニッシャー	2 基
薬剤投入システム	液体 (原液) 状態で使用
その他	タオルフォルダー×3 基

2. 調査項目

(1) 商品管理

工場はジュネーブ大学病院の資金で運営されており、生産する商品は全てジュネーブ大学病院に納める商品になっている。

外来患者毎にリネン類の交換がされることもあり交換頻度は高いが集配車両を 5 往復させることで対応している。工場入荷から出荷までを 1 日～1 日半サイクルで回転させている。

(2) 入荷

回収されたリネン類は集荷方法別 (シューター回収、巡回回収) に専用コンテナに集められ工場に入荷される。回収は回収袋に混載されており入荷場での仕分けが必要になる。

仕分けはアイテム毎に投入口 (30 シュート) が決まっており、コンベアで搬送されてくる不潔物を 3～4 名で仕分けを行っている。・・・【図②】

(3) 洗濯

① 洗濯工程

仕分け工程で投入口から投入されたアイテムはバックシステムで搬送され連洗 2 台にて処理。その他のアイテムはバッチワッシャー 5 台にて処理。

洗濯は連洗各槽・バッチ共に投入重量により工程管理されており、重量により自動的に水・洗剤の投入量が調整される。・・・【図③】

② 脱水工程

連洗ラインの油圧式脱水機は、圧力を 0～40bar まで短時間に上がるように設定している。圧力のかかる時間を長くした方が、水を排出する量が上がる為。

③ 水処理方法

洗濯水は上水を利用し、1 kg の洗濯物に対して 5～6L 使用している (料金は 2.7 スイスフラン/L)。

リサイクルは連洗のみで行っており ph 調整後に下水放流している。

(4) 仕上げ

① ロールライン

シーツ・包布を機械投入（4 名）するラインとその他を手投入（2 名＋さばき 1 名）する 2 ラインで両ラインともに 2 本ロールで構成。投入機ではバッファラインを設けており安定した生産性で 1,000 枚/h の処理能力を発揮している。・・・【図④】

② 白衣類

ハンガーかけによる投入（5 名）。衣類には管理用チップが取り付けられており（管理用チップは新旧が混在しているが併用できるシステムになっている）、ソーティングシステムにより個人別・またはサイズ別・アイテム別に自動分別される。納品方法は、たたみ 40%・ハンガー 60%。・・・【図⑤】

③ タオル類

タオルフォルダー 3 台と手たたみ 2 名にて仕上げを行っている。

(5) 出荷

コンベアで搬送された製品を出荷担当者 2 名でバーコードシステムを利用して出荷準備及び在庫管理を行っている。出荷伝票は出荷日によって色分けされており誤納品がないように管理。また、在庫に関してバーコードの読み込みによりコンピューターにて在庫状況を管理している。・・・【図⑥】

3. 所感

古い機械と新しい機械が混在しているが、全体的にオートメーション化が図れており人員削減を可能としている。

集荷・納品まで非常に効率良く管理され、在庫管理も全てシステム化されているので、集荷・納品・在庫管理が確りとなされている。天井には多数の窓が設けられており、換気と照度が保たれている。これにより夏場の工場内温度上昇を少なからず避けられ労働環境改善に寄与していると感じた。

工場作業は暑くてきついイメージがあるが、視察先の社員の方々は皆さん笑顔で作業されているのが印象的であり、作業環境や生産性の改善の必要性についても再認識することができた。

今回様々な工場を視察させて頂き、スイスでは人員レスに繋がるシステムが導入されており、日本で今後更に深刻化する労働者確保難にはこの様なシステムが不可欠になるだろうと大変勉強になった。

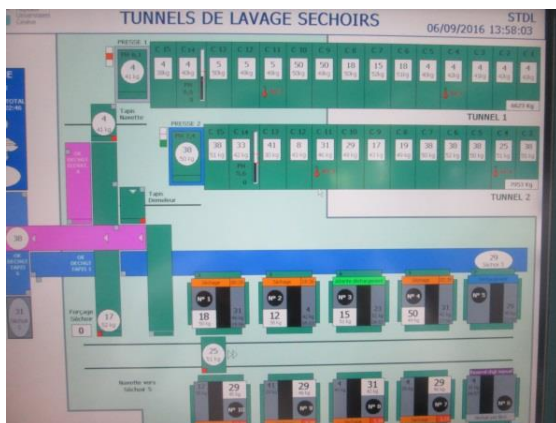
【図① 訪問先】



【図② 仕分け投入口】



【図③ 連洗管理画面】



【図④ ロール仕上げライン】



【図⑤ 白衣類仕上げライン】



【図⑥ 出荷・在庫管理】



【集合写真】



スイスの医療保険事情

【医療 (Healthcare in Switzerland)】

ユニバーサルヘルスケアが実現されており、スイス連邦医療法によって所管されている。法定の強制保険が存在し全スイス滞在者 (3 か月以上滞在者および出生者) に適用される。国際公務員および外交官とその家族は強制保険から免除されるが、任意加入が可能である。

【強制保険】

1996 年より全スイス居住者は標準医療保険へ加入する義務があり、強制保険のカバー範囲は連邦医療保険法にて定められている。保険者は自由に選ぶことができ、公法人だけでなく政府認可企業も選択でき、管理競争政策が取られている。全ての保険加入者は毎月保険料を支払う必要があり、保険料は保険者および居住地域によって様々である。18 歳未満の市民、低所得者の保険料は割安となっている。

保険者は標準医療保険の契約を拒むことはできず、年齢・健康状態にかかわらず加入させなければならない。保険者ごとの加入者リスクは保険者間の補助金で調整される。また保険者は標準医療保険で利益を上げることは禁じられているが、追加オプションを提示することができる。

医療保険では治療費および入院費をカバーしているが、自己負担が存在する。プランは以下が選べる

1. 年平均の医療費を、300CHF～2500CHF の間で被保険者が選択するプラン
2. 医療費の 10%を自己負担し、かつ年間自己負担の総額上限が 700CHF (薬代を除く) であるプラン

医師は標準医療保険でカバーされない治療も実施できるが (混合診療)、患者に対して告知義務があり、患者はそれに疑問点があれば保険者に審査を求めることができる。

【民間保険】

強制保険を補う形で民間医療保険制度が存在し、強制保険でカバーされない治療や病室アップグレードなどを提供している。たとえば、歯科医療や一人部屋病室などは強制保険でカバーされていない。保険料は保険会社によってばらつきがあるが、それは年齢と居住地域によるものでなければならず、性別や健康状態で差をつけることはできない。このようなリスクベース保険料は、強制保険のカバー範囲では用いられない。法定強制保険の範疇となる部分では、保険会社は年齢・性別・健康状態などによってカバー範囲に差をつけることはできない。

【医療機関】

医療制度は、公的・一部民営・完全民営のそれぞれのセクターが存在する。

公 的：たとえばジュネーブ大学は 2,350 病床と 8,300 人のスタッフを抱え、年間 50,000 人の患者に対応する

一部民営：在宅診療サービスは出産・小児・傷病・傷害・老年ケア等に対応する

完全民営：プライベート医師・プライベート病院

保険加入者は、どのセクターから医療を受けるかは完全に自由に選択することができ、自分の加入する保険のプランと公式料金表を参考に各自で選んでいる。どの保険会社に加入するかも自由に選択することができ、法定の“caisse-maladie”に選択することも、追加料金を払って民間の医療保険会社に加入することもできる。保険会社を認可する権限はスイス州レベルにある。